

平成23年政事業レビューシート

(環境省)

<b>事業名</b>	ヒートアイランド現象に対する適応策検討		<b>担当部局</b>	水・大気環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成18年度～		<b>担当課室</b>	大気生活環境室		大気生活環境室長 大村 卓		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	3-2 大気生活環境の保全				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	ヒートアイランド対策大綱(ヒートアイランド対策関係省庁連絡会議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	日本の都市はこの100年間で、東京(大手町)で約3℃、政令市・中核市では約2℃気温が上昇しており、温室効果ガスにより日本の平均気温が約1℃上昇していることを鑑みてもヒートアイランド現象の影響は大きく、その影響は熱中症増加の懸念など、国民一人ひとりの生活に密接に関わっている。一方で、短期的には気温の上昇を抑えることは困難であることから、ヒートアイランド現象による国民への影響を最小限にするための適応策の導入を検討する必要がある。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	1. ヒートアイランド現象による国民への影響を最小限にするため、一部の適応策の効果について、定量的な把握を試みた。 2. 実際の生活の場におけるWBGTと気象台におけるWBGTの違いを把握するため、新たにオフィス街や住宅地等に観測機器を設置し、モニタリング(比較観測)を実施し、WBGTの推定手法を検討した。 3. 気象庁情報を用いてWBGTの予報値を算出し、WBGTの実測値や熱中症患者数の速報値等と併せて、インターネットを通じて情報を提供した。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	10	24	24	37	30	
	執行額	10	16	34				
	執行率(%)	100.0%	66.7%	141.7%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	調査検討事業であり、数値で定量的に示せない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査検討事業であり、数値で定量的に示せない。		活動実績 (当初見込み)	地点×日	-	-	-	-
					-	-	( )	( )
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠		-			
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	<b>主な増減理由</b>				
	環境保全調査費	37	30	継続して行っている事業であり、作業の効率化を図り減額。				
	計	37	30					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>1. 有識者による検討会を開催し、検討会での助言を踏まえた上で、技術的検討を行った。また、検討会前には環境省担当官と十分な打合せを行った。          今後は地方公共団体や民間企業等が各種適応策を積極的・効率的に進める際に必要となるデータ・知見に焦点を絞り、全国においてより効率的・効果的に適応策を導入するための調査を進めていく。</p> <p>2. 3. 観測に不具合が発生した場合、請負者から速やかに報告と対応方法について連絡を受ける体制をとり、観測を実施した。予報値の提供期間中はホームページの更新状況を随時確認し、不具合が生じた場合は、至急対応する体制をとり、運用した。比較観測地点については、環境省担当者と請負者が現地調査し、十分な精査を行った上で決定した。今後はWBG実測データの測定ポイントを大幅に増やすことが難しい中、推計の精度を高めることにより、更に充実した情報提供を実施することが必要。          WBGの予報データの提供は、必要性が高いとして質問主意書にも当省の施策として位置付けており、継続的に実施する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	継続して行っている事業であり、今一度の精査の上、要求額を削減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
継続して行っている事業であり、作業の効率化を図り要求額を減額。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

環境省  
34百万

- ・業務内容の決定
- ・業務実施者との契約

【総合評価入札】

A. 社団法人環境情報科学センター  
17百万円

- ・ヒートアイランド現象に対する適応策の具現化に関する検討

【随意契約】

B. 国立環境研究所  
17百万円

- ・WBGTのモニタリング及びWBGTの推定手法の検討
- ・WBGTの比較観測の実施
- ・WBGT予報情報地の提供

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A. 社団法人環境情報科学センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ヒートアイランド現象に対する適応策の具現化に関する検討	17			
計		17	計		0
B. 国立環境研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	WBGT観測による熱中症予防情報の提供業務	17			
計		17	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人環境情報科学センター	ヒートアイランド現象に対する適応策の具現化に関する検討	17	2	83.9

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立環境研究所	WBGT観測による熱中症予防情報の提供業務	17	1	100